

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成27年8月6日(2015.8.6)

【公表番号】特表2014-517210(P2014-517210A)

【公表日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2014-516137(P2014-516137)

【国際特許分類】

F 04 B 39/00 (2006.01)

【F I】

F 04 B 39/00 107 F

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月16日(2015.6.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つのピストン(1)、少なくとも1つの中間要素(2)、および少なくとも1つの連結ロッド(3)を備える、往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置にして、前記ピストン(1)が、少なくとも1つの非貫通軸方向チャネル(11)を備え、前記中間要素(2)が、少なくとも1つの貫通軸方向チャネル(21)を備え、前記連結ロッド(3)が、少なくとも1つの連結端部(31)を備え、前記中間要素(2)が、ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の内側に固定して収容され、連結ロッド(3)の前記連結端部(31)が、中間要素(2)の貫通軸方向チャネル(21)の内側に固定して収容される、往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置であって、

ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の内径が、前記中間要素(2)の外径に類似し、

中間要素(2)の貫通軸方向チャネル(21)の内径が、連結ロッド(3)の連結端部(31)の外径に類似し、

前記中間要素(2)が、ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の内面との半径方向(R1)および軸方向(A1)の物理的接触を有することを特徴とする、往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項2】

ピストン(1)の前記非貫通軸方向チャネル(11)が、円筒形であることを特徴とする、請求項1に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項3】

前記中間要素(2)が、円筒形であることを特徴とする、請求項1に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項4】

中間要素(2)の前記貫通軸方向チャネル(21)が、円筒形であることを特徴とする、請求項1に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項5】

連結ロッド(3)の前記連結端部(31)が、円筒形であることを特徴とする、請求項1に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項6】

前記中間要素(2)が、ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の閉鎖端部内に固定して収容されることを特徴とする、請求項1に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項7】

連結ロッド(3)の前記連結端部(31)が、中間要素(2)の貫通軸方向チャネル(21)の内面との半径方向の物理的接触(R2)と、ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の内面との軸方向の物理的接触(A2)とを有することを特徴とする、請求項1から6までのいずれか一項に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項8】

中間要素(2)の外面と、ピストン(1)の非貫通軸方向チャネル(11)の内面との間に配設された結合剤を含むことを特徴とする、請求項1から7までのいずれか一項に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項9】

連結ロッド(3)の前記端部(31)と、中間要素(2)の貫通軸方向チャネル(21)の内面との間に配設された結合剤を含むことを特徴とする、請求項1から8までのいずれか一項に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項10】

前記結合剤が、ポリマー樹脂を含むことを特徴とする、請求項8または9に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置。

【請求項11】

請求項1から10のいずれか一項に定義されたような往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置を組み立てるための方法であって、少なくとも1つのピストン(1)、少なくとも1つの中間要素(2)、および少なくとも1つの連結ロッド(3)が同時に取り付けられるステップであって、前記中間要素(2)が、ピストン(1)の内側に固定され、前記連結ロッド(3)が、中間要素(2)の内側に固定される、ステップと、少なくとも、前記ピストン(1)と、中間要素(2)と、連結ロッド(3)との間の同時固定中の結合剤の塗布とを含むことを特徴とする、往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置を組み立てるための方法。

【請求項12】

前記結合剤が、ポリマー樹脂を含むことを特徴とする、請求項11に記載の往復動圧縮機用の連結ロッド/ピストン装置を組み立てるための方法。